

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(平成27年度)

調査表

施設名	宮崎県男女共同参画センター
指定管理者	特定非営利活動法人 みやざき男女共同参画推進機構
指定期間	平成27年4月1日～平成30年3月31日(3年間)
県所管部課	総合政策部 生活・協働・男女参画課

1 施設利用状況

指 標	H27	H26	H25	増減理由等
センター利用者数	7,640	7,272	6,898	Facebookを活用した広報や男性向けのイベント実施、他の団体と連携したイベント等の実施で前年度よりセンター利用者数について増加したが、地域に向いていく研修等などの増加で研修室・交流室の利用者数について微減している。
相談窓口利用者数	1,792	1,901	1,894	
研修室・交流室利用者数	2,121	2,570	2,925	
コメント	27年度より閉館時間の見直しを行った(平日は～19時→～17時30分)が、特に苦情等はなく、利用者数は見直し前より増加するなど、特に支障は認められなかった。今後も引き続き広報を積極的に行い、センターの周知を図る必要がある。			

2 施設収支状況

(単位:千円)

収 入	H27	H26	H25	支 出	H27	H26	H25
指定管理料	27,066	26,013	25,290	管理費	20,177	17,447	17,822
				事業費	6,787	8,541	7,332
合 計(①)	27,066	26,013	25,290	合 計(②)	26,964	25,988	25,154
収支差額(①-②)	102	25	136				
コメント	効果的・効率的な事業及び運営が行われ、適正に執行されている。						

3 管理運営状況

※下線部分は、平成27年度に新たに取組んだ内容

事 項	実 施 内 容	
維持管理業務	清掃	日常清掃。定期清掃(毎週土曜日) 各室のフロアワックス清掃
	保守・点検	リース会社による印刷機・コピー機点検(月1回)(空調・電話・電気等の機械設備は総務課が所管)
	警 備	(県の警備委託会社による巡回警備)
	修 繕	(県庁9号館の設備修繕は総務課が所管)
	備品等管理	備品点検(年2回)
	安全対策	危機管理マニュアル整備、消防訓練の実施
	その他	廊下の陳列棚の整備、高齢者・妊婦・子ども連れ用駐車スペースの管理
企画運営業務	サービス提供体制整備	運営評価委員会の開催(2回)。貸室利用促進。図書・ビデオ等の利用促進。登録グループ・関係機関への支援。パネル等掲示物の貸出と提供。広報誌とホームページの充実化。施設パンフレット相談案内カードを更新。携帯電話用サイトの開設。QRコードの作成。講座等参加者へのアンケート調査実施。Facebookページの運営
	イベント等ソフト面充実	講座(19回)、講師派遣(23回)、職員派遣(8回)、総合相談開設(月曜～土曜 9時～17時 ※土曜は16時30分まで)。専門相談(月2回)、県内男女共同参画関連施設相談員研修会(1回)、県庁、図書館でのパネル展開催。マスコミ各社への情報提供。ジェンダーカフェの開催(自主事業)。地域課題解決のキーパーソンとなる人を対象に、男女共同参画の視点を持って活動を推進していくための実践講座を開催。
	施設設備等ハード面充実	研修室・交流室を3Fから2Fに変更するなど利便性を向上。研修室・交流室・印刷機・検索用パソコンの無料使用。キッズスペースの整備。「赤ちゃんの駅」登録
	その他	啓発物印刷の発注を県内業者に限定。エコ商品購入
管理運営体制	職員の資質向上のための所内研修。各種研修会参加。個人情報取扱規程、情報公開規程整備	
コメント	維持管理業務については、適正に管理が行われている。企画運営業務に関しては、地域課題解決のキーパーソンとなる人を対象に、男女共同参画の視点を持って活動を推進していくための実践講座を開催するなどの新たな活動を行った。広報誌の班回覧や県広報媒体等を活用した広報宣伝やホームページ、Facebookを活用し、新たなセンター利用者の掘り起こしに努めている。所内での職員研修を行うほか、研修機関の専門研修を受けるなど、職員の資質向上にも努めている。	

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	講座参加者に対するアンケート調査(全講座)
調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等
講座実施後のアンケート調査では、「満足」と回答と回答した受講者が非常に多く、高い評価を得ている。「若いときからの男女共同参画に関する学習が大事」等の意見があった。	満足度の高かった要素や要望を次年度の講座に取り入れるとともに地域に向いての地域課題解決の講座など、新たな形の活動も行った。また、若年層から男女共同参画への理解を広げるため、学校等への出前講座や講師派遣にも力をいれた。

5 総合評価

評価コメント	27年度から閉館時間の見直しを図ったが、特に支障は見られず、27年度のセンター利用者数は前年度より増加している。ホームページやマスコミ等を積極的に活用し情報提供にも努めている。収支状況についても、経費節減が図られ、効率的に執行されている。
今後の課題と対応	積極的な広報や他団体・機関との連携により、引き続きセンターのPRに努めるとともに、若年層や男性など、新規利用者の掘り起こしや県内各地での新たな啓発を行う必要がある。また、社会情勢の変化に伴い男女共同参画分野における課題も変容していることから、今後ともニーズに即した講座内容の充実を図っていく必要がある。